

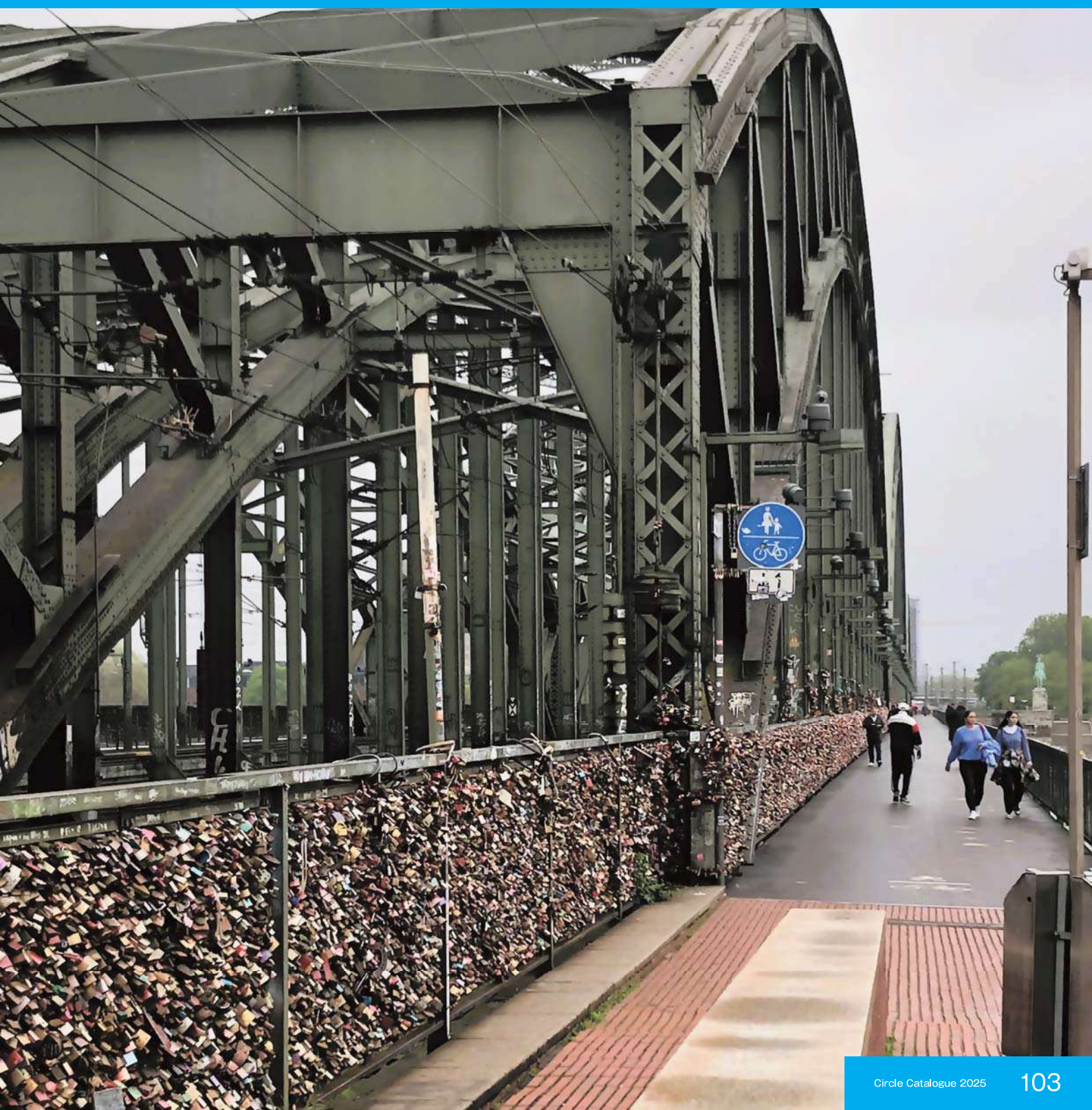
B

HINGES ヒンジ

blum	107
GRASS	127
Hettich	133
SALICE	141
MURAKOSHI	155
HAFELE / 特殊ヒンジ	159

B

Hinges



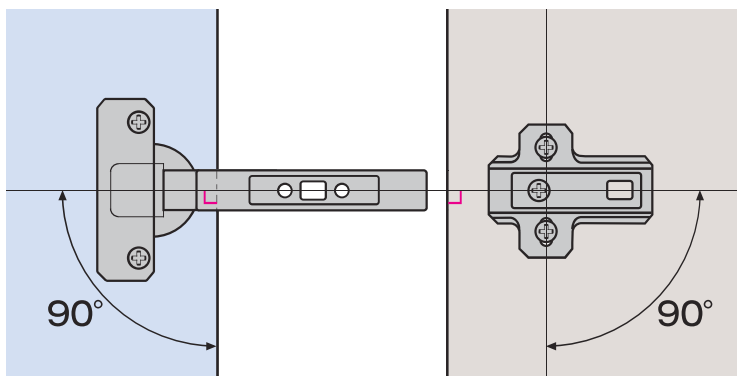
スライドヒンジについて

スライドヒンジは元々、ヨーロッパから入ってきたヒンジで、ユーロヒンジとも呼ばれています。
最大の特徴は家具の外側からヒンジが見えず、扉の取り外しが簡単に行なえる事です。
ヨーロッパ製の家具は扉がベタ芯の場合が多く、ヨーロッパ製のスライドヒンジは
重量に耐えられる様に作られており、精度が良く滑らかな動きが得られます。
その性能を最大限に引き出すためには、ヨーロッパ製のヒンジを使用する場合の
注意点として取付精度も要求されます。

性能を十分に引き出すために

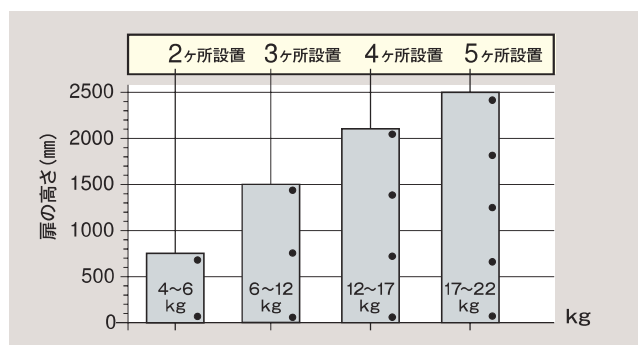
特に注意する点は右図の様に取付角度の直角が出ていないと、
扉を一度外して、再度取付られなかったり、
扉が脱落したりする事があります。
必ず直角に付く様に取り付けて下さい。
「座金取付治具」を使用すると簡単に直角が出せます。

φ40カップのスライドヒンジは重量用ではありません。カブセ量を大きくしたい時とか目地代を小さくしたい場合に使用下さい。
重い扉の場合はヒンジの数を増やして下さい。



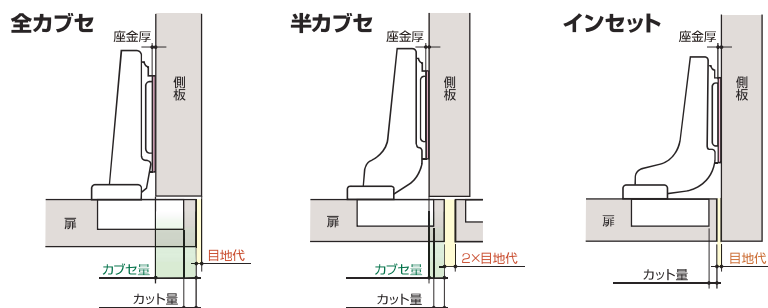
ヒンジ設置個数の目安

扉1枚当たりヒンジを何個使うかは扉の「高さ」と「重さ」によります。
安定性を維持するためにはヒンジ間の距離をできるだけ離して下さい。
右のグラフは扉の幅が600mmの場合です。



カブセについて

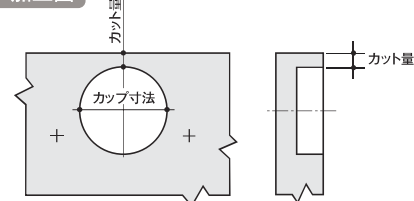
側板に対する扉の納め方で、3種類に分けられます。



カブセ量・・・側板に扉が重なっている幅を指します。

目地代・・・扉が隣の扉や壁などに当たらず開くために必要な最小値を目地代と呼びます。

カップ加工図

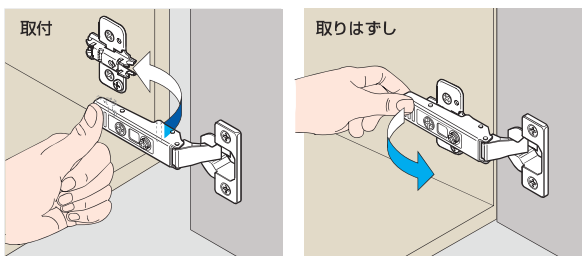


カップ寸法にはφ26、φ35、φ40などのヒンジがあります。
通常はφ35カップ、枠組のガラス扉などにはφ26カップを使用します。
カブセ代を大きくしたいとき、扉厚が厚いとき、目地代を小さくしたいときはφ40カップのヒンジを使用します。

開き角度

通常使用するタイプは105°~110°開きのヒンジを使用する人が多いですが、扉が壁などに当たる場合、85°開きのヒンジや角度ストッパーなどを使います。
上下を留加工したい場合、持出しが大きいヒンジを使用します。

ワンタッチ式ヒンジの取付

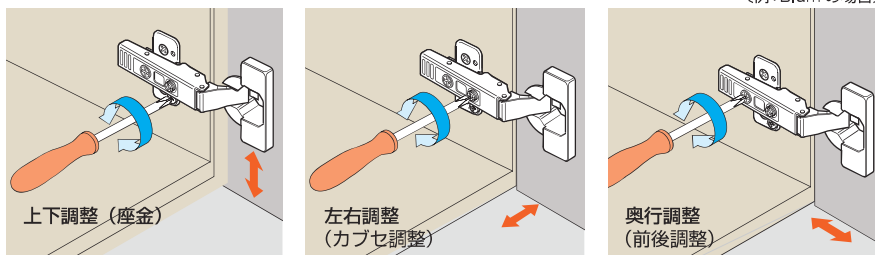


従来のネジ止めタイプのヒンジはネジがゆるむ場合があります。メンテナンスの必要があります。
ワンタッチ式のヒンジは座金に差し込み、押し込むだけのタイプです。ネジ止めしないため、ネジがゆるむ心配がありません。
ネジがゆるんでいる場合、必ずネジを締めて固定して下さい。
扉が脱落する可能性があります。
また、ワンタッチ式のヒンジでもカチッとロックしている事を確認して下さい。
扉が脱落する可能性があります。

扉の調整

ヨーロッパ製のヒンジをご使用時は、必ずユーロビット・ドライバーで調整してください。

(例: Blum の場合)



座金取付治具
Circle

品名	価格
座金取付治具	930 円



G*GRASS ScrewDriver
ユーロビット PZ2 ドライバー

品番	価格
006.33.003	2060 円

ヨーロッパ製ビス調整の際は、必ずユーロビット・ドライバーで調整してください。



Blum ScrewDriver
ユーロビット PZ2 ドライバー

品名	価格
Blum SRD ユーロビット PZ2 ドライバー	2710 円

System32 について

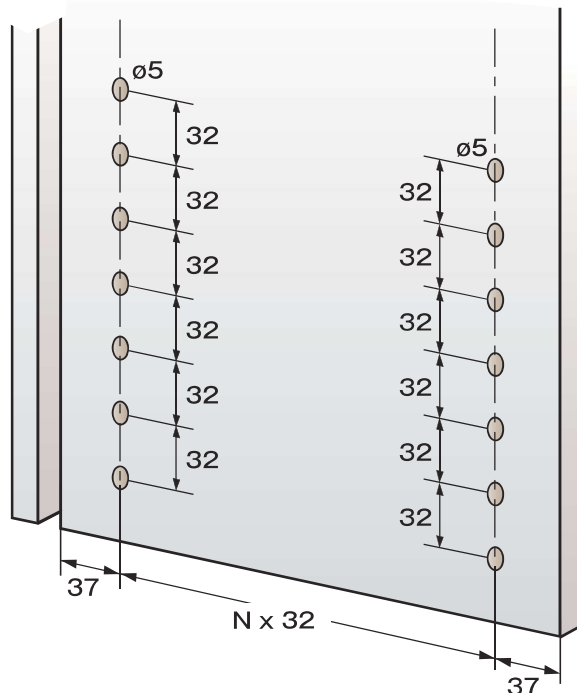
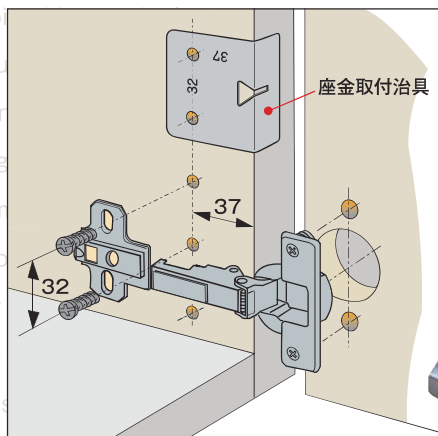


System32 はドイツで生まれた家具製作システム。32mm をモジュールとして、その倍数で構成された寸法体系を持っています。

32 という数字は2 の 5 乗であり、家具設計の合理化と高速化に大きく寄与します。

32mmピッチのシステム穴を採用することにより、様々な金具の取り付けが容易となり、将来の棚や扉の追加にも対応できます。

32mmピッチのノックダウンシステム（組立式）の為、現場への搬入の制約がなく、ライフスタイルの変化にあわせて、必要に応じた分解、増設、改造も可能です。ヨーロッパ製のヒンジの多くはこのシステムに合わせて作られており、どのメーカーでも座金の取付位置は下図のようになっています。



ヒンジ選びについて

1. 扉の大きさ及び重量は？

扉高さ (mm) × 扉幅 (mm) 扉重量 (kg)

① 扉の大きさ及び重量で選ぶ

本カタログ 120 ページのヒンジ設置個数の目安をご参照下さい。
又、扉幅が 600 mm 以上になる場合、扉の荷重芯位置が吊り元より遠くなる為、吊り元上部のヒンジ数を増す事をお薦めします。

2. 扉厚は何ミリですか？

扉厚 (mm)

3. 側板の厚さは何ミリですか？ (カブセ量)

側板厚 (mm)

φ35 カップで最大 24 mmカブセの製品もあります

① 扉の厚さで選ぶ

薄扉用ヒンジ 扉厚 8mm~14mm
通常用ヒンジ 扉厚 16mm~24mm
厚扉用ヒンジ 扉厚 16mm~32mm (36mm)
φ40 カップヒンジ 扉厚 20mm~40mm

② カブセ量によってヒンジを選ぶ

カタログ中のカブセ量、カット量の表をご参照下さい。
全カブセ、半カブセ、
インセット+カット量+座金厚
によって様々なカブセ量が
選べます。

例えば右の表の場合 0 mm座金を使用し、
6 mmカットにすれば 17 mmカブセになります。

例

カブセ量 mm																
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
									3	4	5	6				0
						3	4	5	6							3
			3	4	5	6										6
3	5	6	7													9
C カット量													座金の厚み			

4. カブセはどれですか？

全カブセ 半カブセ インセット

5. 目地代は何ミリにしますか？

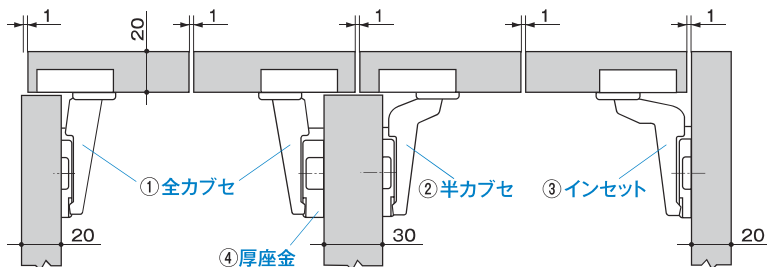
目地代 (mm) mm

例

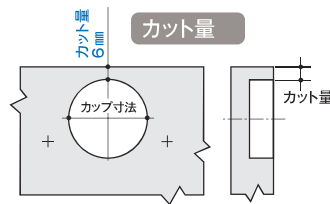
① 目地代を何ミリに設定するか

連続扉など目地代を揃えたい場合、本カタログ中の目地代の表をご参照下さい。
又、下図の例の様に厚扉用のヒンジを選べば少ない目地代で揃える事もできます。

例 扉厚 20 mm 側板 20 mm 中帆立 30 mm



扉厚 mm	C カット量 mm					目地代
	3	4	5	6	7	
16	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
18	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
19	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
20	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
22	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	
24	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	
26	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	
28	1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	
29	2.8	2.5	2.3	2.2	2.1	
30	3.6	3.1	2.7	2.5	2.4	
31	4.5	4.0	3.5	3.2	3.0	
32	5.4	4.8	4.3	3.8	3.5	



6. キャッチ有・無しですか？

有 無し

7. ダンパー付きですか？

有 無し

① 扉の開閉によって選ぶ

ダンパー付、キャッチ付、キャッチ無しで扉の閉じ方が選べます。
ゆっくり閉めたい時はダンパー付きのヒンジをお選び下さい。

8. 扉の開き角度は何度ですか？

開き角度 (°) ○○° 100°、107°、110°、120°、155°、170° 等の開き角度をお選び下さい

① 扉の開き角度等で選ぶ

広角度開のヒンジ又は、マイタータイプの
扉対応のヒンジがあります。

